

**製品名: TEF1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18777**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TMEFF1 C9orf2
別名	
遺伝子 ID	100526694.0
SwissProt ID	Q8IYR6
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

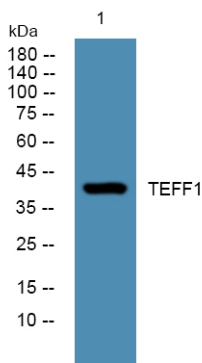
**背景**

機能:神経パターン形成中の NODAL および BMP シグナル伝達を阻害する可能性があります（類似性による）。脳腫瘍の腫瘍抑制因子となる可能性があります。類似性:トモレグリンファミリーに属します。類似性:UPF0439 ファミリーに属します。類似性:1つの EGF

様ドメインを含みます。類似性:2つの Kazal 様ドメインを含みます。サブユニット:ST14 と相互作用する可能性があります。組織特異性:脳で発現します。組織特異性:主に脳で発現し、心臓、胎盤、骨格筋でも低レベルで発現します。脳腫瘍では、対照脳組織と比較して発現が低下します。機能:神経パターン形成中の NODAL および BMP シグナル伝達を阻害する可能性があります (類似性による)。脳腫瘍における腫瘍抑制因子となる可能性がある。類似性: トモレグリンファミリーに属する。類似性: UPF0439 ファミリーに属する。類似性: 1つの EGF 様ドメインを含む。類似性: 2つの Kazal 様ドメインを含む。サブユニット: ST14 と相互作用する可能性がある。組織特異性: 脳で発現する。組織特異性: 主に脳で発現し、心臓、胎盤、骨格筋でも低レベルで発現する。脳腫瘍では、対照脳組織と比較して発現が低下している。

## 研究分野

## 画像データ



U2OS 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、TEFF1 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩